

ドバイが世界初の 3D プリント・オフィスを構築

【ドバイ、アラブ首長国連邦 (UAE) 2015 年 7 月 1 日 PR ニュースワイヤー】

世界初の完全に機能する 3D プリントのビルを構築する計画がドバイで本日発表され、この野心的な展開は建築工事・設計における技術のグローバル・センターとしてのアラブ首長国連邦 (UAE) の地位を確立させます。

マルチメディアのニュースリリースは：

<http://www.multivu.com/players/uk/7565251-dubai-first-3d-printed-office/>

アラブ首長国連邦内閣総務大臣および UAE ナショナル・イノベーション委員会委員長の H.E Excellency Mohammed Al Gergawi は今回の発表について「このビルは、建設・設計部門を再形成する大きな役割を果たしていると思われる 3D プリント技術の効率性・創造性を証明しています。我々はイノベーションと 3D プリントのグローバル・ハブとなることで、この成長をうまく活用することを目指しています。これは今後益々の活躍が期待される最初のステップとなります」と述べました。

このビルは「未来のミュージアム(Museum of the Future)」の近くに位置し、ドバイで今年初めに発表され、スタッフのために一時的な本部としての機能を果たします。サイズは約 2,000 平方フィートで、全長 20 フィートの 3D プリンターを使用して一枚ずつ印刷され、その後数週間のうちに現場で組み立てられます。すべてのインテリア家具、ディテリング、構造要素も 3D プリント技術を使用して構築されます。これまでで最も先進的な、完全に機能する 3D プリントのビルとなります。

同プロジェクトは最初の「未来のミュージアム」の主要な取り組みであり、世界的な大手アーキテクチャ・エンジニアリング会社である Gensler、Thornton Thomasetti、Syska Hennessy と共に、ドバイと WinSun Global および中国の 3D プリント技術会社である WinSun と海外の投資家間の大規模なパートナーシップの一環となります。

デザインは今後の活動の要件についての詳細な研究に基づいており、職場デザインにおける最新の考え方を示しています。スペースはオープンで柔軟であり、さまざまな利用やチーム・サイズを可能にし、パブリック・プライベートのイベントの組み合わせを通じて、専門家、コミュニティ・メンバーおよび専門家らを集結させます。また、小型デジタル製造施設と 3D プリント展示スペースを取り上げています。

同プロジェクトは、建設・設計部門の重要な変革である「3D プリントおよびデジタル製造への移行」の始まりとなります。長い間、研究所でテストが実施されてきましたが、3D プリント技術は急速な時代の到来となりました。このプロジェクトは、このスケールで構築され、最初に実用された今までで最も先進的な 3D プリント構造になります。

専門家は 3D プリント技術が、生産時間を 50-70%短縮し、人件費を 50~80%削減し、建設廃棄物を 30%から 60%減らすことができると判断しています。これらの節約は生産性の向上、更なる経済的利益や持続可能性の高まりへと変換されています。

Saif Al Aleeli

saif.alaleeli@pmo.gov.ae

00971(0)50-5151550